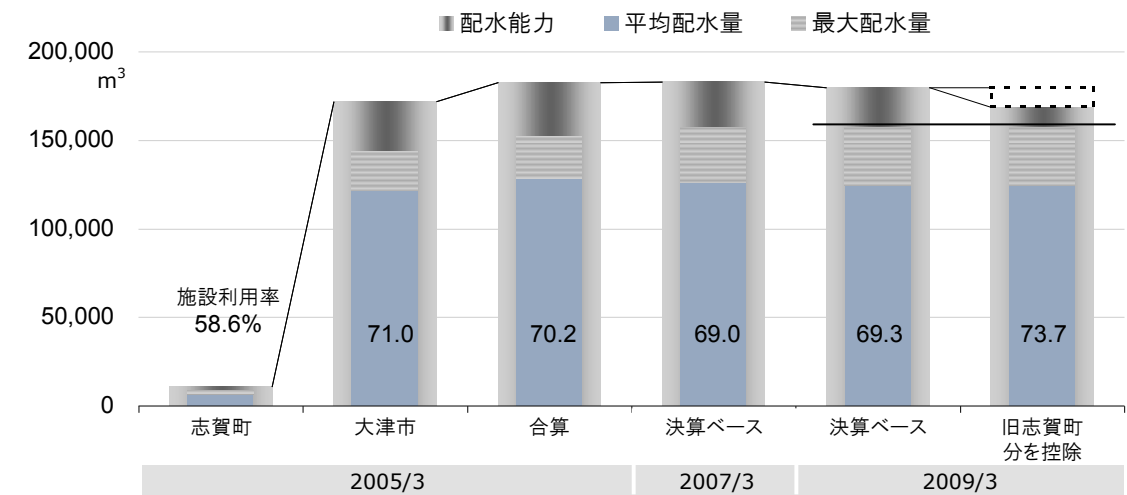


第2章 広域再編による更新投資の節約

第1節 志賀町：自力再構築を貫き更新投資が嵩んだケース

平成18年3月、旧大津市と旧志賀町が合併し、水道事業は大津市企業局に統一された。この際、第8次拡張事業の変更届が提出され、平成20年7月に計画給水人口356,000人、計画一日最大給水量185,500m³/日とした変更事業が認可された。平成19年4月には旧志賀町の水道料金を大津市の水道料金に統一した。一般家庭で1ヶ月20m³使用した場合、旧志賀町で3,045円だった水道料金は1,774円となった。



決算期		配水能力 m ³	最大配水量 m ³	平均配水量 m ³	施設利用率 %	最大稼働率 %	負荷率 %
2005/3	志賀町	10,890	8,370	6,378	58.6	76.9	76.2
	大津市	171,843	143,954	121,963	71.0	83.8	84.7
	合算	182,733	152,324	128,341	70.2	83.4	84.3
2007/3	決算ベース	182,794	157,501	126,052	69.0	86.2	80.0
2009/3	決算ベース	179,743	157,519	124,474	69.3	87.6	79.0
	控除ケース	168,853	157,519	124,474	73.7	93.3	79.0

図2-1 統合前後における配水能力及び配水量の比較

志賀町は平成元年に志賀第2浄水場（現・比良浄水場、浄水能力4,268m³/日）、平成12年に志賀第1浄水場（現・八屋戸浄水場、浄水能力6,622m³/日）を建設した。その折の借入金で2005年3月末現在約40億円残存しており、関連する費用項目としては支払利息9,781万円、減価償却費1億7,623万円が計上されていた。水道料金は1ヶ月20m³当たり3,040円と比較的高く設定されていた。

なお、浄水場整備時の借入金を資金調達力関連の業務指標（PI）に換算すると 9.9 ヶ月となり、計算上はこの分だけの向上が期待できたこととなる。

Map of the Katsuragi River water supply system in Osaka Prefecture. The map shows the river flowing from the north to the south, with various water treatment plants and distribution points marked. Key locations include Matsubara, Katsuragi, and various districts like Himeji and Katsuragi. A legend indicates symbols for water treatment plants (red square), simple water supply (red circle), and distribution points (grey cylinder).

—77—